

第69期 決算のご報告

平成22年4月1日 ～ 平成23年3月31日



株式会社 **ナカノフード建設**

証券コード：1827

社長 ごあいさつ

株主の皆様へ

株主の皆様には、格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。「第69期決算のご報告」をお届けするにあたり、皆様の日頃のご支援に、心より御礼申し上げます。

また、本年3月の東日本大震災により被災された皆様には心よりお見舞い申し上げます。当社グループは社会資本整備の一翼を担う建設業の一員として、被災地の復旧・復興に役職員一丸となって取り組んでまいり所存でございます。

さて、当期の当社グループを取り巻く環境は、東南アジア経済が堅調に推移し、日本経済も緩やかな回復基調を辿りましたが、国内建設業は、公共投資の縮減が進み、民間設備投資も円高に伴う生産拠点の海外移転などにより低調裡に推移し、一段と厳しいものとなりました。

東南アジア経済は、今後も高めの成長が続くものと思われませんが、わが国経済の先行きは、東日本大震災や原子力発電所事故の影響などにより、当面、生産活動の停滞が懸念されますものの、一方で規制緩和やサプライチェーンの再構築などにより、新たな需要が喚起される可能性もあります。当社グループは、国内、海外の両輪をもって時代の変化に機敏に対応し、経営基盤の強化を図り、安定した収益基盤の構築に全力で取り組んで参ります。

株主の皆様におかれましては、今後とも何卒倍旧のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成23年6月

取締役社長 **浅井 晶**



当期業績概況

当連結会計年度のわが国経済は、新興国の需要拡大により輸出関連企業に一部回復の兆しが見えたものの、急激な円高により回復の速度は鈍くなりました。また、中東情勢の不安定化により原油、原材料の供給不安もあいまって今後の景気回復が弱含みとなり、先行き不透明感を払拭することができない経済環境となりました。

このような状況の中、当社グループは、国内では経済環境の変化や顧客ニーズの変化に機敏に対応するため組織変更などを行いました。国内建設業

界は、公共投資の縮小傾向が続き、民間設備投資も本格的な回復には至らず、縮小していく建設市場のなかで熾烈な受注獲得競争が展開される大変厳しい受注環境となりました。一方、海外では、進出以来36年以上の経験と実績をもとに、堅調な東南アジア市場において着実に実績を上げてまいりました。

その結果、当連結会計年度の業績は以下のとおりとなりました。

売上高は、建設事業1,186億93百万円（前年同期比微減）に不動産事業他

15億90百万円（前年同期比6.5%増）を合わせ、1,202億83百万円（前年同期比0.1%増）となりました。

損益面におきましては、海外建設事業は堅調に推移いたしましたが、国内建設事業の不振による売上総利益の減少により、営業利益は14億4百万円（前年同期比52.5%減）、経常利益は13億62百万円（前年同期比50.3%減）となりました。また、法人税等合計7億48百万円の計上等により、当期純利益は6億39百万円（前年同期比65.1%減）となりました。

セグメント別概況

■建設事業

当社グループの受注高は、日本674億25百万円（前年同期比20.9%減）に、東南アジア318億96百万円（前年同期比41.4%増）を合わせ、993億21百万円（前年同期比7.8%減）となりました。

売上高は、日本916億60百万円（前年同期比7.1%減）に東南アジア270億51百万円（前年同期比33.2%増）を合

わせ、1,187億12百万円（前年同期比0.2%減）となりました。また、日本と東南アジアを合わせた当期セグメント利益は7億64百万円となりました。

■不動産事業

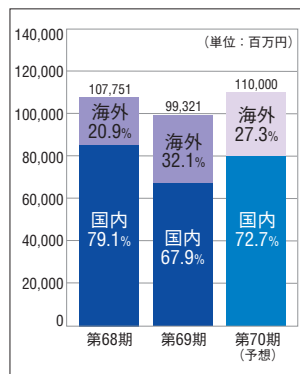
賃貸事業を中心とする不動産事業の売上高は、日本12億96百万円（前年同期比10.1%増）に、北米2億71百万円

（前年同期比6.2%減）を合わせ、15億68百万円（前年同期比6.9%増）となりました。また、日本と北米を合わせた当期セグメント利益は6億53百万円となりました。

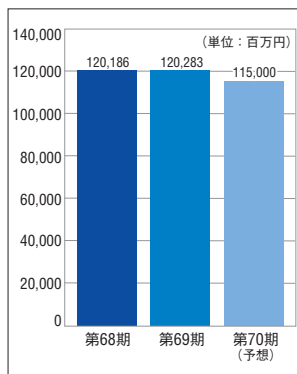
（注）セグメント間の内部売上高等を含めて記載しております。

業績推移

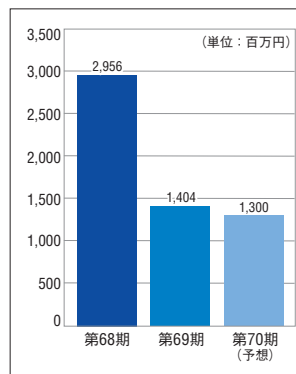
■連結受注高



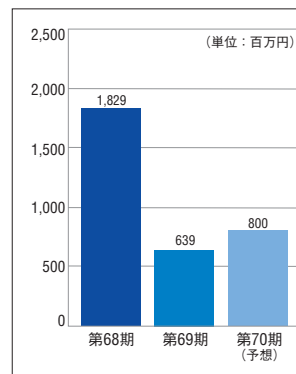
■連結売上高



■連結営業利益

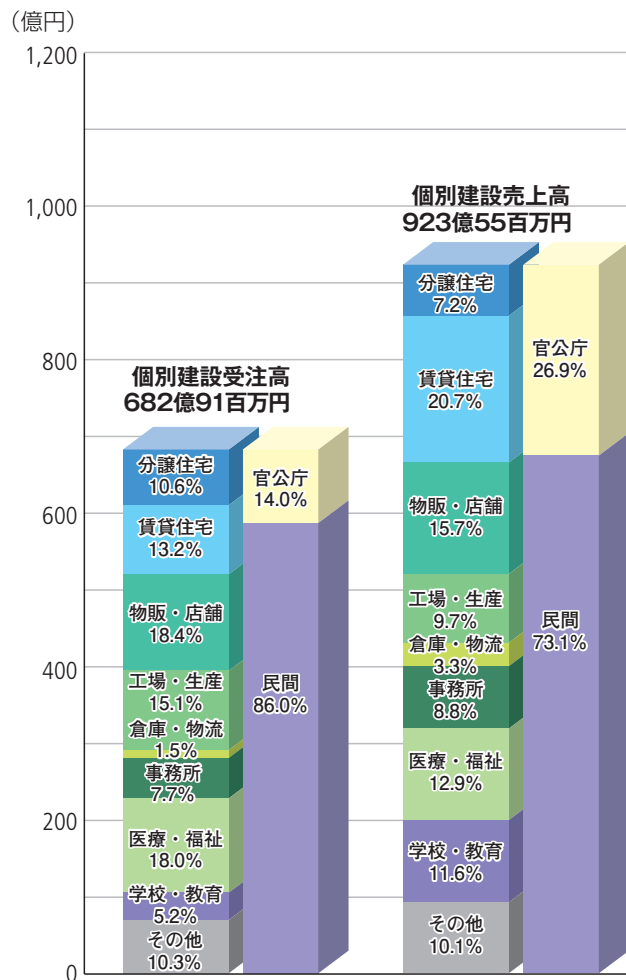
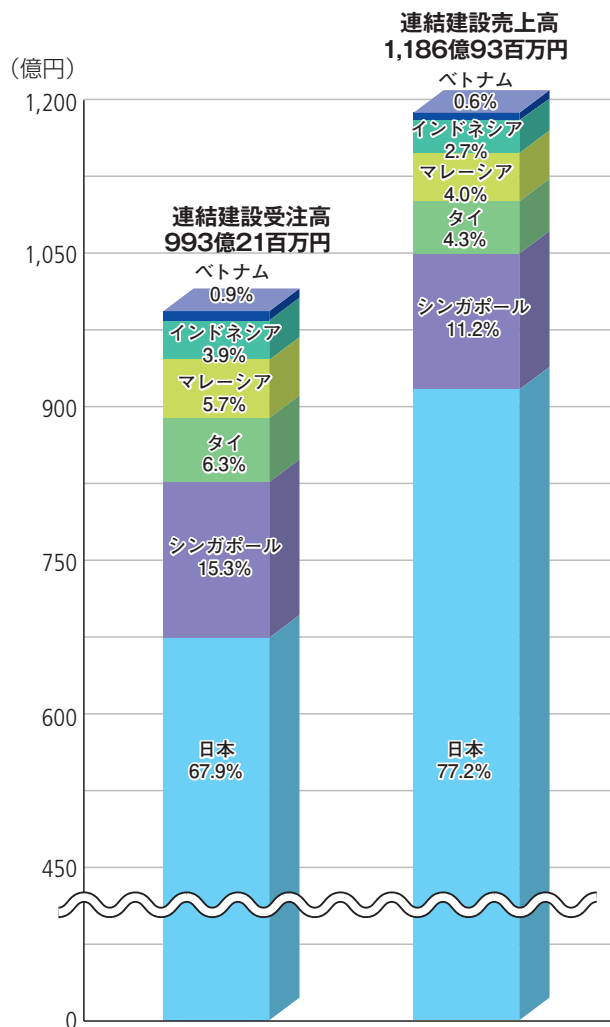


■連結当期純利益



建設事業概況

当事業年度における建設事業の内訳につきましては以下の通りであります。
多様な用途の施工実績を背景とした技術力の高さをご評価いただいております。



経営方針

会社の経営の基本方針

当社グループは、経営方針として「法令を順守し、品位ある企業を目指す」、「品質の確保に努め、顧客の信頼に応える」、「社業を健全にし、全ての向上を図る」を掲げ、法令を順守し、品質を確保して社業を発展させ、社会に貢献する企業であることを経営の基本方針としております。

会社の対処すべき課題

当社グループを取り巻く環境は、民間設備投資の減少により受注競争が激化し、建設利益の低下を招くなど大変厳しい経営環境となり、また、東日本大震災の発生による生産や物流の停滞が、今後の資機材の調達に影響を与える懸念があります。

このような状況の中、顧客の抱える問題の解決が重要な課題であると認識し、ソリューション営業の推進を図ってまいります。さらに震災の影響による資機材の不足や高騰などへの懸念につきましても、全国拠点での調達の情報共有と協力体制を強化するなど、有機的な対応を行うとともに業務の効率化を図り、工事利益の確保に努めてまいります。

また、海外建設事業では東南アジア市場の活況に伴う建設需要の増加に対応するため、人的増強を図ると同時に安全確保の徹底、コスト競争力の強化、更なる品質の向上を目的とする体制強化を進めてまいります。

今後も厳しい環境が続くものと思われませんが、国内、海外の両輪をもって安定した収益基盤を構築し、強い競争力と体力ある企業を目指してまいります。

中期経営計画概要（平成22年4月～平成25年3月）

**国内、海外の両輪で安定した収益基盤を構築し、
強い競争力と体力のある企業を目指す。**

基本方針

- ① 国内建設事業の競争力強化による安定した収益基盤の確立
- ② 海外建設事業の受注・施工・管理体制の強化
- ③ 有利子負債の削減による財務体質の強化
- ④ 内部留保の積み上げと安定配当による企業価値の向上
- ⑤ 社会的責任を果たす人材の育成

連結決算概要

連結貸借対照表 (単位: 百万円)

| 項目 | 当期 | 前期 |
|----------------|----------------|----------------|
| | (平成23年3月31日現在) | (平成22年3月31日現在) |
| (資産の部) | | |
| 流動資産 | 45,551 | 51,059 |
| 固定資産 | 19,680 | 20,124 |
| 有形固定資産 | 15,623 | 16,072 |
| 無形固定資産 | 127 | 131 |
| 投資その他の資産 | 3,929 | 3,920 |
| 資産合計 | 65,231 | 71,183 |
| (負債の部) | | |
| 流動負債 | 47,768 | 52,764 |
| 固定負債 | 5,548 | 6,478 |
| 負債合計 | 53,317 | 59,242 |
| (純資産の部) | | |
| 株主資本 | 13,626 | 13,195 |
| 資本金 | 5,061 | 5,061 |
| 資本剰余金 | 1,400 | 1,400 |
| 利益剰余金 | 7,192 | 6,759 |
| 自己株式 | △27 | △26 |
| その他の包括利益累計額 | △2,019 | △1,606 |
| その他有価証券評価差額金 | 96 | 193 |
| 為替換算調整勘定 | △2,116 | △1,800 |
| 少数株主持分 | 307 | 352 |
| 純資産合計 | 11,914 | 11,941 |
| 負債純資産合計 | 65,231 | 71,183 |

連結損益計算書 (単位: 百万円)

| 項目 | 当期 | 前期 |
|--------------------|-------------------------------|-------------------------------|
| | (自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日) | (自 平成21年4月1日 至 平成22年3月31日) |
| 売上高 | 120,283 | 120,186 |
| 完成工事高 | 118,693 | 118,693 |
| 不動産事業等売上高 | 1,590 | 1,492 |
| 売上原価 | 113,811 | 111,892 |
| 完成工事原価 | 113,023 | 111,293 |
| 不動産事業等売上原価 | 788 | 598 |
| 売上総利益 | 6,471 | 8,293 |
| 完成工事総利益 | 5,670 | 7,399 |
| 不動産事業等総利益 | 801 | 893 |
| 販売費及び一般管理費 | 5,066 | 5,337 |
| 営業利益 | 1,404 | 2,956 |
| 営業外収益 | 258 | 170 |
| 営業外費用 | 300 | 386 |
| 経常利益 | 1,362 | 2,740 |
| 特別利益 | 520 | 71 |
| 特別損失 | 525 | 637 |
| 税金等調整前当期純利益 | 1,357 | 2,174 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 376 | 249 |
| 過年度法人税等 | 212 | — |
| 法人税等調整額 | 159 | 82 |
| 少数株主損益調整前当期純利益 | 608 | 1,842 |
| 少数株主利益又は少数株主損失(△) | △30 | 12 |
| 当期純利益 | 639 | 1,829 |

連結キャッシュ・フロー計算書 (単位: 百万円)

| 項目 | 当期 | 前期 |
|------------------|-------------------------------|-------------------------------|
| | (自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日) | (自 平成21年4月1日 至 平成22年3月31日) |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 9,617 | 5,468 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △464 | 73 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △1,692 | △4,058 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | △233 | 139 |
| 現金及び現金同等物の増加額 | 7,226 | 1,623 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 12,326 | 10,702 |
| 現金及び現金同等物の期末残高 | 19,552 | 12,326 |

連結株主資本等変動計算書 (単位: 百万円)

当期 (自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日)

| | 株主資本 | | | | | その他の包括利益累計額 | | | | 少数株主持分 | 純資産合計 |
|-------------------------------|-------|-------|-------|------|--------|------------------|--------------|-------------------|-----|--------|-------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | 利益剰余金 | 自己株式 | 株主資本合計 | その他有価証券 評価差額金 | 為替換算 調整勘定 | その他の包括 利益累計額合計 | | | |
| 平成22年3月31日残高 | 5,061 | 1,400 | 6,759 | △26 | 13,195 | 193 | △1,800 | △1,606 | 352 | 11,941 | |
| 連結会計年度中の変動額 | | | | | | | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | △206 | | △206 | | | | | △206 | |
| 当期純利益 | | | 639 | | 639 | | | | | 639 | |
| 自己株式の取得 | | | | △1 | △1 | | | | | △1 | |
| 株主資本以外の項目の 連結会計年度中の変動額(純額) | | | | | | △96 | △316 | △412 | △45 | △458 | |
| 連結会計年度中の変動額合計 | — | — | 432 | △1 | 431 | △96 | △316 | △412 | △45 | △26 | |
| 平成23年3月31日残高 | 5,061 | 1,400 | 7,192 | △27 | 13,626 | 96 | △2,116 | △2,019 | 307 | 11,914 | |

(注1) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

(注2) 当期より「包括利益の表示に関する会計基準」を適用しており、「その他の包括利益累計額」の前期の金額は、「評価・換算差額等」の金額を記載している。

個別決算概要

貸借対照表 (単位：百万円)

| 項目 | 当期 (平成23年3月31日現在) | 前期 (平成22年3月31日現在) |
|----------------|----------------------|----------------------|
| (資産の部) | | |
| 流動資産 | 31,465 | 40,143 |
| 固定資産 | 20,379 | 20,552 |
| 有形固定資産 | 13,840 | 14,069 |
| 無形固定資産 | 119 | 125 |
| 投資その他の資産 | 6,419 | 6,356 |
| 資産合計 | 51,845 | 60,695 |
| (負債の部) | | |
| 流動負債 | 36,961 | 44,968 |
| 固定負債 | 5,212 | 6,089 |
| 負債合計 | 42,173 | 51,057 |
| (純資産の部) | | |
| 株主資本 | 9,593 | 9,475 |
| 資本金 | 5,061 | 5,061 |
| 資本剰余金 | 1,400 | 1,400 |
| 利益剰余金 | 3,159 | 3,040 |
| 自己株式 | △27 | △26 |
| 評価・換算差額等 | 77 | 162 |
| その他有価証券評価差額金 | 77 | 162 |
| 純資産合計 | 9,671 | 9,637 |
| 負債純資産合計 | 51,845 | 60,695 |

損益計算書 (単位：百万円)

| 項目 | 当期 (自平成22年4月1日 至平成23年3月31日) | 前期 (自平成21年4月1日 至平成22年3月31日) |
|-----------------|-----------------------------------|-----------------------------------|
| 売上高 | 93,571 | 100,421 |
| 完成工事高 | 92,355 | 99,328 |
| 不動産事業売上高 | 1,215 | 1,093 |
| 売上原価 | 89,121 | 93,448 |
| 完成工事原価 | 88,438 | 92,942 |
| 不動産事業売上原価 | 682 | 506 |
| 売上総利益 | 4,449 | 6,972 |
| 完成工事総利益 | 3,916 | 6,385 |
| 不動産事業総利益 | 532 | 587 |
| 販売費及び一般管理費 | 4,406 | 4,670 |
| 営業利益 | 43 | 2,302 |
| 営業外収益 | 674 | 262 |
| 営業外費用 | 249 | 325 |
| 経常利益 | 467 | 2,239 |
| 特別利益 | 514 | 64 |
| 特別損失 | 504 | 642 |
| 税引前当期純利益 | 477 | 1,661 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 42 | 32 |
| 法人税等調整額 | 109 | 11 |
| 当期純利益 | 325 | 1,617 |

株主資本等変動計算書 (単位：百万円)

当期 (自平成22年4月1日 至平成23年3月31日)

| | 株主資本 | | | | | 評価・換算差額等 その他有価証券 評価差額金 | 純資産合計 |
|------------------------------|-------|-------|---------|------|--------|------------------------------|-------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | 利益剰余金 | 自己株式 | 株主資本合計 | | |
| | | 資本準備金 | 繰越利益剰余金 | | | | |
| 平成22年3月31日残高 | 5,061 | 1,400 | 3,040 | △26 | 9,475 | 162 | 9,637 |
| 事業年度中の変動額 | | | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | △206 | | △206 | | △206 |
| 当期純利益 | | | 325 | | 325 | | 325 |
| 自己株式の取得 | | | | △1 | △1 | | △1 |
| 株主資本以外の項目の 事業年度中の変動額 (純額) | | | | | | △84 | △84 |
| 事業年度中の変動額合計 | — | — | 119 | △1 | 118 | △84 | 33 |
| 平成23年3月31日残高 | 5,061 | 1,400 | 3,159 | △27 | 9,593 | 77 | 9,671 |

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

トピックス

最新のキャリア教育を提供する尼崎双星高等学校完成！



平成23年4月、兵庫県尼崎市に48年ぶりの新設校として尼崎市立尼崎双星高等学校が開校いたしました。普通科のほかに商業・電気・機械などの学科を備え、普通科のなかでも音楽類型などのコースがあり、多様な学びができる全国でもめずらしい高等学校です。

多様な学びを実現するため、主に3棟からなる建物を有機的に配置し、学生が学びやすい環境を提供しています。特に管理教育棟の正面に面する部分は円形のカーテンウォールになっており、内部の吹き抜け空間はコミュニケーションラウンジと名付けられ、一般の方との交流もできる場所となっています。校舎の中心に位置する広い吹き抜けのトップライトには、省エネ対策として透過性太陽光パネルのガラスを採用しているほか、多数の屋上庭園や壁面緑化を実現するなど、環境に配慮した建物となっています。

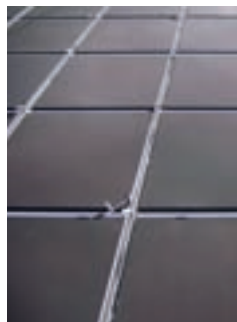
施工会社として品質管理を徹底することは当然のことですが、教室や実習室、体育館やコミュニケーションラウンジ等様々な用途に対応し、生徒達が安心して学べる空間を提供するため、細心の注意を払い施工いたしました。



壁面緑化を採用した中庭



内部



外部

【工事概要】

| | |
|-----|------------------------------|
| 工事名 | (仮称) 新高等学校新築工事 |
| 発注者 | 兵庫県尼崎市 |
| 施工 | ナカノフドー・藤木・オカモト・香山特定建設工事共同企業体 |
| 竣工 | 平成22年12月 |
| 規模 | 地上5階＋地上4階 延床面積30,136.38㎡ |

吹き抜けには透過性の太陽光パネルのガラスを採用

東京本店が労働安全衛生マネジメントシステム『COHSMS』を認証取得

平成22年12月22日に、東京本店が建設業労働災害防止協会より建設労働安全衛生マネジメントシステム『COHSMS（コスモス）』の認定を受けました。

『COHSMS（コスモス）』とは、「Construction Occupational Health and Safety Management Systems」の頭文字をとった略称であり、作業所における労働災害の潜在的な危険有害要因をなくし、健康の増進と快適な職場づくりの実現と建設企業の安全衛生水準の向上を目指すため、必要な安全衛生管理の仕組みを示したものです。

当社グループは、安全衛生に関する基本理念として『当社は、「人命尊重」を最優先とし、安全衛生活動を積極的に展開し安全で快適な職場環境の形成を目指す』を掲げ、今後も安全衛生の推進に不断の努力を続けてまいります。



東日本大震災に伴う被災地への支援状況



平成23年3月11日の東日本大震災発生後、直に対策本部を設置し、支援活動を実施してまいりました。全国の社員はもとより、協力業者の方々などに呼びかけることにより、多くの食料品、生活用品、資機材などの支援物資を搬送することが出来ました。

取引先などの被災建物の復旧を最優先に行うとともに、専門技術者による建物診断や、耐震診断などの活動を行っております。

また、社団法人日本建設業連合会を通じての義援金の拠出や、公益財団法人日本財団を通じての支援金・支援物資の提供を行っております。

今後もナカノフード建設は、復旧・復興へ向けた活動を積極的に進めてまいります。

施工実績紹介 (当期完成工事)

分譲住宅



セントトーマスコンドミニウム (シンガポール)

構造：RC造
規模：2棟 地下2階／地上33階 (176戸)
延床面積：57,710㎡

賃貸住宅



東松山駅東口周辺整備 A街区優良建築物等整備事業に伴う施設建築物等建設
構造：RC造
規模：1棟 地下1階／地上13階
延床面積：10,781㎡
(埼玉県東松山市)

複合施設



(仮称) 青少年拠点施設及び子育て支援及び山田駅前図書館建設 (大阪府吹田市)
構造：SRC造
規模：1棟 地下2階／地上7階
延床面積：7,585㎡

工場・生産施設



コニカミノルタ第三期工場・厚生棟（マレーシア）
構造：RC造
規模：地上1階（一部2階）
延床面積：23,431㎡

福祉施設



社会福祉法人市原うぐいす会特別養護老人ホーム（千葉県市原市）
構造：RC造
規模：1棟 地上3階／塔屋1階
延床面積：5,507㎡

公共施設



（仮称）新消防庁舎・名張市防災拠点施設新築工事（三重県名張市）
構造：RC造
規模：1棟 地上2階
延床面積：4,161㎡

物販・店舗



（仮称）越谷ビル新築工事（埼玉県越谷市）
構造：S造
規模：1棟 地下1階／地上3階／塔屋1階
延床面積：22,878㎡

受注実績紹介

(仮称) 港区立港南四丁目公益施設新築工事



「海」をコンセプトとし、環境配慮の考えを取り入れた保育園、中高生プラザ、地域コミュニティの用途に対応した公益施設

発注者 東京都港区
竣工 2012年12月予定
構造 RC造
規模 1棟 地上3階
延床面積 6,229.33㎡
場所 東京都港区

株式会社創味食品 丹波第3工場 新築工事



外食産業の幅広いニーズに応える調味料製造工場

発注者 株式会社創味食品
竣工 2011年6月予定
構造 S造
規模 地上2階
延床面積 12,141.27㎡
場所 京都府船井郡

チャンギビジネスパーク



ショッピングセンター、ホテル棟、オフィス棟のすべてを単独受注した大型プロジェクト（表紙写真参照）

発注者 アセンダスフレイザーズ
竣工 (ショッピングセンター：Retail) 2011年6月予定
(オフィス棟) 2012年8月予定
(ホテル棟) 2012年8月予定
構造 RC造
規模 (ショッピングセンター：Retail) 地下1階／地上3階
(オフィス棟) 地下1階／地上9階
(ホテル棟) 地上1階／地上12階
延床面積 154,256㎡ (全体)
(ショッピングセンター：Retail) 65,000㎡
(オフィス棟) 70,454㎡
(ホテル棟) 18,802㎡
場所 シンガポール

CSF CX5 データセンター



クアラルンプール近郊に位置するサイバージャヤ（情報集積都市）において、本件で3件目になるデータセンター。

発注者 インテグレートド DC ビルダーズ
竣工 2011年10月予定
構造 RC造
規模 地上5階（一部6階）
延床面積 53,903㎡
場所 マレーシア

会社概要 (平成23年6月29日現在)

| | |
|---------|---|
| 商号 | 株式会社ナカノフードー建設 |
| 創業 | 昭和8年2月8日 |
| 設立 | 昭和17年12月19日 |
| 資本金 | 50億6,167万8,686円 |
| 従業員数 | 1,145名（連結）796名（個別）（平成23年3月31日現在） |
| 主要な事業内容 | 当社グループは、建設事業および不動産事業を主な内容として事業活動を展開しております。国内および東南アジアでは総合建設業を、北米では不動産事業を主として営んでおります。 |

主要な事業所

国内

| | |
|-------|----------------------|
| 本店 | （東京都千代田区九段北四丁目2番28号） |
| 東京本店 | （東京都千代田区） |
| 東北支社 | （仙台市） |
| 名古屋支社 | （名古屋市） |
| 大阪支社 | （大阪市） |
| 九州支社 | （福岡市） |
| 土木支店 | （東京都千代田区） |
| 北海道支店 | （札幌市） |
| 東関東支店 | （千葉市） |
| 北関東支店 | （さいたま市） |
| 横浜支店 | （横浜市） |
| 茨城支店 | （土浦市） |
| 台東支店 | （東京都台東区） |
| 北東北支店 | （八戸市） |

海外

| | |
|-------------|--------|
| ハノイ駐在員事務所 | （ベトナム） |
| ホーチミン駐在員事務所 | （ベトナム） |

主要な子会社

| 会社名 | 事業内容 |
|-----------------------------|--------------|
| 国内 | |
| 中野開発株式会社（尼崎市） | 不動産事業・その他の事業 |
| 海外 | |
| ナカノシンガポール（PTE.）LTD.（シンガポール） | 建設事業 |
| PT.インドナカノ（インドネシア） | 建設事業 |
| タイナカノCO.,LTD.（タイ） | 建設事業 |
| ナカノコンストラクションSDN.BHD.（マレーシア） | 建設事業 |
| ナカノインターナショナルCORP.（アメリカ） | 不動産事業 |

取締役および監査役

| | |
|-----------|--------|
| 取締役名譽会長 | 大島 義和 |
| 代表取締役社長 | 浅井 晶 |
| 取締役 | 笹 裕 |
| 取締役 | 迫 宗和 |
| 取締役 | 中野 功一郎 |
| 取締役 | 黒河 利秀 |
| 取締役 | 安広 誠 |
| 常勤監査役（社外） | 河野 勝 |
| 常勤監査役 | 渡邊 唯好 |
| 監査役（社外） | 佐藤 俊一 |
| 監査役（社外） | 山谷 耕平 |

執行役員

| | |
|------------|---|
| 取締役 専務執行役員 | 笹 裕（海外事業本部長、経営企画部・業務監査部 管掌） |
| 取締役 専務執行役員 | 迫 宗和（国内建設事業本部長兼東京本店長） |
| 取締役 常務執行役員 | 中野 功一郎（経理部担当） |
| 取締役 常務執行役員 | 黒河 利秀（経営企画部・業務監査部・総務部 担当） |
| 取締役 常務執行役員 | 安広 誠（海外事業本部副本部長兼海外事業本部建設部長） |
| 専務執行役員 | 山下 登志治（大阪支社長） |
| 専務執行役員 | 望月 藤一（国内建設事業本部品質管理統轄部長） |
| 常務執行役員 | 川口 法男（ナカノシンガポール（PTE.）LTD.社長兼ナカノコンストラクションSDN.BHD.会則） |
| 執行役員 | 竹谷 紀之（東京本店副本店長） |
| 執行役員 | 服部 智（タイナカノCO.,LTD.社長） |
| 執行役員 | 下沖 洋一郎（名古屋支社長） |
| 執行役員 | 杉浦 優（海外事業本部営業部長） |
| 執行役員 | 平井 秀夫（総務部長） |
| 執行役員 | 多田 龍男（国内建設事業本部事業統轄部長） |
| 執行役員 | 長山 和行（大阪支社副支社長） |
| 執行役員 | 山田 博（大阪支社営業担当） |
| 執行役員 | 菅谷 昭彦（東京本店営業担当） |

株式状況 (平成23年3月31日現在)

株式状況

■発行可能株式総数 154,792,300株

■発行済株式の総数 34,498,097株

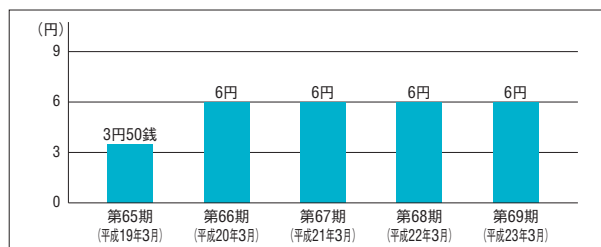
■株主数 4,480名

■大株主

| 株主名 | 持株数 (千株) | 持株比率 (%) |
|---------------|-------------|-------------|
| 公益財団法人大島育英会 | 6,756 | 19.65 |
| 関東興業株式会社 | 3,600 | 10.47 |
| 大島 義和 | 3,076 | 8.94 |
| 株式会社マリンドリーム | 2,000 | 5.82 |
| 株式会社三菱東京UFJ銀行 | 1,647 | 4.79 |
| 株式会社MBサービス | 1,200 | 3.49 |
| 有田 信子 | 1,170 | 3.40 |
| ナカノ従業員持株会 | 969 | 2.82 |
| ナカノ友愛会投資会 | 728 | 2.12 |
| 株式会社損害保険ジャパン | 442 | 1.29 |

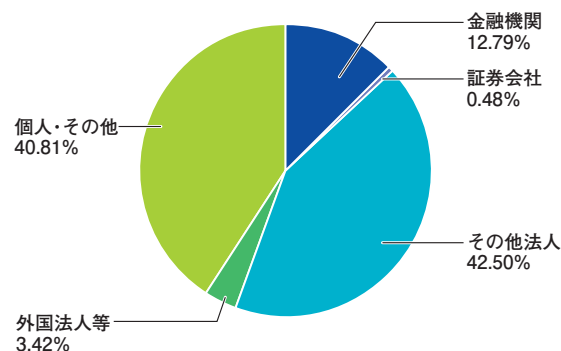
(注) 持株比率は、自己株式(108,529株)を控除して計算しております。

■配当の状況



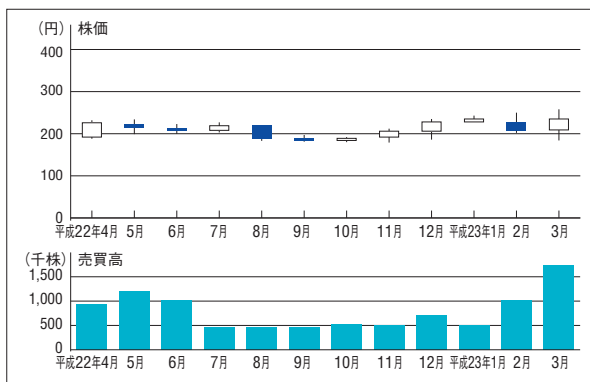
株式分布状況

所有者別分布状況



| 株式数 | 株数 |
|--------|----------|
| 金融機関 | 4,412千株 |
| 証券会社 | 166千株 |
| その他法人 | 14,661千株 |
| 外国法人等 | 1,180千株 |
| 個人・その他 | 14,077千株 |

株価推移



株主メモ

- 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会 毎年6月下旬
- 基準日 毎年3月31日
そのほか必要がある場合には、あらかじめ公告いたします。
- 単元株式数 500株
- 株主名簿管理人および
特別口座の口座管理機関
同事務取扱場所
(連絡先) 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
〒137-8081
東京都江東区東砂七丁目10番11号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
電話 0120-232-711(通話料無料)
- 公告方法 日本経済新聞に掲載いたします。

※株券電子化後の各種お手続きに関するご注意

- (1) 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）にて承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いができませんのでご注意ください。
- (2) 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にでもお取次ぎいたします。
- (3) 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

<表紙写真>

チャンギビジネスパーク（シンガポール）

株式会社 ナカノフード建設

本店 〒102-0073 東京都千代田区九段北四丁目2番28号
TEL 03 (3265) 4661
ホームページ <http://www.wave-nakano.co.jp>



本報告書は植物油インクで印刷しております。
ご不要の際は、ハリをはずし資源ゴミへ。